



ごあいさつ



同窓会長 吉 中 新太郎

活動・進学実績が著しく躍進し、満足度をより高くして卒業しています。今年もそんな三九六名の卒業生が同窓会新会員となつて、私達が母校を想う気持ちにも一層力が入り、強い愛着を感じます。

母校は平成十九年には、創立二〇〇周年を迎えます。「札幌東高等学校らしく」一〇〇周年をお祝いするには、同窓会活動を活性化させ、学校や関係諸団体と連携して、全面的に参画することが不可欠なことと考えます。ここ数年、それを意識して同窓会の体制作りもしてきていますが、今後とも、広く会員の皆様のご指導、ご意見を頂きながら、意義深い二〇〇年の節目を迎え、次の世代に歴史を引き継いで行きたいと考えます。

この会報が皆様のお手元に最初に届くのは第九十五回同窓会総会の時です。例年どおり、多くの皆様と懐かしい出会いの場になることを楽しみにしています。ぜひ、その機会に、同窓会の活動についてももちろん、一〇〇周年記念事業についても、多くの話し合いが出来れば幸いと思います。

今後とも、多數の会員の皆様からご意見を頂きながら、同窓会の運営をして行きますので、皆様におかれましては、一〇〇周年と言う貴重な節目に、従来にもまして、温かいご支援とご協力・ご指導を頂きますようお願い申し上げます。札幌東高の着実な進化発展と会員皆様の健勝を祈念申し上げ、ご挨拶と致します。

同窓会の皆様におかれましては、国内外各地、各分野で、それぞれのお立場を築かれ、ご活躍のことだと思います。日本は、未だイラク戦争が本来の意味で終結されない中、国際的にも諸課題を抱えながら、政治・経済が混沌としています。また、特異と思われる社会問題や事件が頻繁に発生するなど安閑としていられない時代を迎えてしまっているような気がします。しかしながら、少子高齢化社会の到来などの時代背景を意識した年金問題をはじめとする諸論議もおこり、時代の転換期を思わせます。

一方、同窓会活動は、ここのごろ支部活動・同期会活動が盛んになって、同窓生の交流の場が増えてきています。また、同窓会の諸活動も会員の熱心な参加意欲で、常任幹事の増員、役員の役割分担などの組織化もほぼ計画どおり進み、諸活動がより中身の濃いものとなつて来ています。

母校も時代の流れの中で、福井校長先生はじめ先生方が「克己自強」の精神をベースに後輩の皆さんが「札幌東高に入学して良かった」「札幌東高を卒業して良かった」と言える教育をして下さっています。特にここ数年、生徒たちは、部

ごあいさつ



札幌東高等学校長

福井誠一

同窓会の皆様には、日頃から母校の発展のために温かいご支援をいただき、厚くお礼を申し上げます。

本校は三年後には創立百周年を迎えるが、今年になつてから特に本校の

とがいくつもありました。三月には、
校舎の周りのポプラの木の老化が進ん

ていなため机の剪定や伐採を行いました。秋から冬にかけて強風のために一

部の枝が折れ落ちて、危険な状況であったため、やむを得ない措置であります

したが、數十年の間、本校に通う生徒を見守り続け、本校の歴史の証人とも

お詫びするが、アーティストの方たちも世作の交替が近づいていることを感じました。また、

つていています。暖房設備のない古い基準で建てられた体育館をこれまで大切に使つてきましたが、ここでもまた多く

の生徒が汗をかき、若い歓声が響き渡つたに違ひないことを思うと本当に感慨深いものがあります。

現在、社会の急速な変化とともに、

高校教育を取り巻く環境も年々変化しております。日本の将来を担う若者の数が減り続けており、このことは将来

のみならず現在の高校教育にも影を落としております。道教委の進めている

学校規模の適正化を図る配置計画により、来年度は石狩管内だけで12間口の削減が決まりそうです。学級減はどの

学校にとつても大変大きな打撃であり、通学区域の改変とともにさまざま

な影響を与えます。本校においてはこうしたさまざまな問題を乗り越え、本校に自己のいいを交換・積みこみ

校二世紀に亘る歴史を記した「学校像」を描きながら、生徒にとってさらに魅力ある学校となるよう努力しているところです。

根となるよ。努力しているところです。

勤勉、忍耐ということがあまり大切な

あります。

こととされなくなつてきており、社会生活を行う上で最も大切な規範意識や倫理観が十分に育ちにくい環境になつています。私は、先行き不透明なこれからの中社会に生きる子どもたちに、今しつかりと「心の教育」を行わなければならぬと考へます。子どもたちに豊かな人間性を育み、自分の人生を切

り拓いてたくましく生きて行ける力を育てることが最も重要であると考えます。幸いにして本校生徒は、良識を持つ行動ができる生徒が多く、将来の同窓の皆様には、今後も母校に対しまして一層のご支援をいただきますようお願い申し上げ、ご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

自分のために学習や部活動など幅広く力を蓄える努力を重ねています。これも先輩から受け継がれたよき伝統のおかげであると思つております。今後も本校の長い歴史の中で培われてきたたゞらしい伝統の力を生かしながら、一層信頼される学校づくりに努めたいと考へております。

今春の進学状況は、国公立大学に現役で一三三名合格と今年も道内ベスト4を保っています。今年は特に、北海道大学への合格者数が飛躍的に伸びて、現役五十七名に過年度卒を加えて、一〇一名と本校の歴史上最高となりました。この実績は本校職員の熱意あふれる地道な指導と保護者や同窓会の皆



東九会 四十五周年同期会の集い

東九会 会長 乙丸 修彌

オリンピックの年に思い出す。自分たちの当番期の事を!

日、金・銀・銅の話で持ちきりであつた十二年前、テーマを「燃えろ！92夏」として、9期、23期、42期が心をひとつにして、楽しい集いとなる、お手伝いをしました。



と決まりました。

総会では行事・収支計画、会則・役員選出と進み、出席者全員で記念撮影をした後、陣内幸則さんの開会の辞で懇親会に移りました。

残念だったのは、当日になり、恩師・遠藤忠先生が体調不良のため欠席された事です。

会は、思い出話に花が咲き、再会を喜び合ひ、夜のふけるのを忘れてお酒を酌み交わし、次回の東九会を、二〇〇七年に開くことを皆で約束し、さらには二〇〇九年、卒業五十周年同期会の開催を確認しあつて会を締めました。

幹事の皆様の尽力により、おかげで、五十七名もの参加をいただき、盛会のうちに終えました。

東九会は、これまでに、二回（昭和五十三年第六十九回、平成四年第八十三回）同窓会総会当番期のほかに、平成元年八月・卒業三十周年同期会、平成六年九月・卒業三十五周年同期会、平成十二年八月・還暦同期会と、集いを重ねてきました。

今年は卒業して四十五年になるので同期会をしましよう」との話が持ち上がり、早速、1月より3回の幹事会を持ち打ち合わせをし、時は六月二十日、所は定山渓第一ホテル

ことが出来、この場をお借りして、御礼申し上げます。



一〇〇三第九十四回同窓会総会を振り返つて

三十四期 佐野 哲也

「こんなに楽しいと思わなかつた。
ありがとう。」

どうして九十年以上も同窓会は続いているのだろう。

きっと当番期の人があなたOBに命令されてしまうがなく毎年繰り返されているにちがいない。

同窓会の実行委員を引き受けてしまつた時そう思つた。

去年の三月、第一回目の実行委員会。

二十期の先輩たちは各クラスから出席しているのに、我々三十四期は三人だけ。

しかし三人だった三十四期も会合を重ねることに増えてゆき、打ち合せの後は同期のYくんが働く焼き鳥屋に行くのが恒例になつた。卒業アルバムをめくりながら語る思い出話は尽きることなく終電の時間になるのはあつとう間だつた。そのうち、このプチ同窓会がメインになり、仕事の都合で定例幹事会に出席できなくとも、飲み会にはきちんと顔を出す奴もいた。今考えると、この飲み会が良かった。同窓会は楽しいものだという意識が徐々に高まつていつた。

力不足ではあつたが、私は広告の担当をさせてもらつことになつた。記念誌に載せる広告を集めため多くのO

Bと会つて話す機会に恵まれた。

「電話じやだめ。来い。」と言われ、恐る恐るお店に顔を出したら、とても優しい人で、その娘さんも東高で、そして担任の先生が私と同じで、話が盛り上がり、三時間もお邪魔したことを行つた。

「商品の写真撮つてくれたら三万円の広告にする」といわれ、開店前にも材を持ち込み商品撮影を済まし、撮り



をかけられた。三十四期の二次会には七十人以上が集まつた。幹事は場所を設定するだけ。みんな好き勝手に話している。

どうして同窓会が九十年以上も続いているのだろう。それは出席した人でないとわからない。

同窓会の幹事を終えてそう思つた。そして今も二十期の先輩たちと飲んだりわからぬ。

世代を越えて共通の話題を語り合う機会はなかなかないのだが、人生のなかのたつた三年という時間が、それを可能にしていると思う。

去年の同窓会懇親会は挨拶、校歌斉唱のほかに、当番期の卒業アルバムのクラス写真パネル以外には特別な企画はなく、はつきり言えば地味な内容だつた。しかし、そこに場所・時間・思い出があるだけで同窓会は勝手に進行していつた。

会を締めくる私の乾杯の挨拶は、話に夢中でだれも聞いてくれない。同窓会は上手くいったんだなと勝手に実感。

「来てよかつたよ。お疲れさん。」



り、電話で話したりと、交流は続いている。十三年後、再び巡る当番期のときは、私たちが去年の二十期の立場になつて後輩たちを引っ張っていくことになるが、彼らに私たち以上の思い出、楽しさを味わってもらえればと思う。

次の総会当番期は順調にいけば第一〇八回。煩悩に振り回されず向かうのみ。



東京支部だより

札幌東高三十期 竹下 博文

(当番幹事 高女二十四期、東高六期・三十期)

今から三年前、東高二十七期で支部役員の中山先輩（私にとって、札幌東高校の他に防衛大学校の先輩にあたります）から、「札幌市立高女・札幌東高校の同窓会に東京支部というのがあって、支部総会・懇親会を毎年実施しているから、君も来てみないか」と声を掛けていただけ



若い期にとって、様々な方面で活躍されている諸先輩とお話ができ、人と人とネットワークが広がっていくことは、本活動に参加する大きな魅力の一つとなっています。今後は、同窓会東京支部を盛り上げていこうという若い意気込みのある方々の応援をして参りたいと考えています。本当にありがとうございました。

き、縁があつて、二十四回、二十五回総会と参加させていただきました。それぞれとても盛況な同窓会で、すばらしく感激したのを覚えています。昨年は総会の当番期として、高女二十四期、東高六期の先輩方々と総会準備を実施させていただけということで、母校同窓会に少しでも貢献したいという気持ちで参加させていただきました。楽しい一年間でした。

さて、懇親会での一番の想い出は、やはり、恩師である佐々木貞三先生（S二十五（二十七理科）、遠藤忠先生（S

二十七（四十体育）、同窓会本部の小山國夫幹事長、作家の曾我部司様（東高二十七期）に御臨席いただき、時間的制約はありましたが、ウイットに富んだご挨拶、スピーチをいただけたことと、東高六期、吉田法頭様のプロ顔負けの名司会に助けていただき、懇親会が和やかに且つ、盛大に盛り上がることができたことに尽きると思います。

参加者一同で校歌を歌う校歌齊唱では、卒業して、はや二十五年、はたして

歌えるかなという心配もありましたが、歌えるかなという心配もありましたが、会場に前奏が流れだすと不思議と歌詞がでてきて、当時の想い出、懐かしいシーンまでが蘇り、目頭が熱くなつたのを感じています。

参加者総数は総会当日が衆議院総選挙の投票日と重なったこともあり、例年から較べると幾分少な目であったことは、多少残念でしたが、すばらしい諸先輩の方々と楽しいひとときを御一緒させて頂いたことは、私の大切な思い出となりました。

準備にあたっては、当番幹事である高女二十四期、東高六期の皆様をはじめ、東京支部役員の方々、学年幹事の方々に大変お世話になりました。若手の当番幹事でもある三十期の参加が結果的に一名だけという結果となり、皆様には大変ご迷惑をおかけしましたが、同窓会皆様の総力とご支援により総会が無事終了することができ、感謝の気持ちでいっぱいです。

「オジバンド」の近況について

オジバンド代表 口ツカー西島

五十歳をすぎ、仕事と離れたところで遊べる仲間のいる人は幸せである。それが遠慮のいらぬ同期生なら、なおさらである。

我々、十八期も皆様と同様に、同窓会当番期を経験し、急速にその親密さを深めた。その後も、もともと酒好きばかりなので、何かと理由を付けて飲み会を開いていたのだが、ある日、「ただ飲むだけなく、趣味のバンドを作ろうや」という話になつた。そして、それがもう来年は、結成十周年の記念ライブとなる。

オジバンドは、いわゆる「おじさんバンド」である。東高十八期生を中心し平成八年に結成した。ちょっとと活動を紹介させていただくと、毎年四月にススキノでの定期ライブ、十一月には福祉施設にてボランティア活動を行なつてている。また、勢い余つて、数年前には「涙の南郷通」、昨年は「めでたいな」と二枚目のCDアルバムまで制作してしまつた。曲は全部がオリジナル。校歌をモチーフにした「夢みる菊水」、地域密着型の「たそがれの東札幌」、逃げた女房がなんだ!の「涙の南郷通」と結構おもしろい。ついでにメンバーも紹介する。ボーカルはジョニー白佐、トコロ正、ヨイショルは渡辺の三人。それぞれがメインボーカル、

センターボーカルなど自分が中心だとい張つている。

ピアノのハンディ月居、ベースはマクドナルド喜多、サックスのナース工藤、ギターの私の合計七人。ナースは三年前、二度目の当番期を一緒にした三十二期からの新加入。十四歳下だがバンドのルック的にはほとんど若返らなかつた。

ほかにスタッフとしてイッサーオ井浦、きちんときちんと島田、ヘンリー浅野、シノラー村瀬の四人。それぞの役目でバンドを強力にサポートしてくれる。

ところで本題の近況であるが、オジバンドは「還暦まで頑張ります!」が合言葉。いつもステージの最後に「どんなに老眼が進み、楽譜が見えづらくても、還暦までは頑張ります」と叫んできたが、気が付くと、なんと還暦まであと数年となつてしまつた。

そう言えば最近、飲み会の話題に血圧とか健康のことが多くなつた。ここ一年で七人のうち、三人が入院した。そこでお願いだが、オジバンドがジジバンドとなる前に、もっと言えばメンバーが捕つてゐるうちに、あなたにも見に来て欲しい。白熱のオジバンドのライブを。きっと損はさせない。



同窓会函館支部の近況

同窓会常任幹事 中澤 狂也

第六十三回目の同窓会函館支部総会

は、平成十五年十月二十五日、ホテル函館ロイヤル内「ぎょくらん」で十二名の会員が参加して開催されました。

昭和三九年から五九年までの二十年間函館に在住し、高女と東高の同窓会一本化当時の役員の一人であった私は、「同窓会函館支部」開催の案内を受けると、何を置いても函館に駆け付けることをモットーとしています。

当日は同窓会総会に先立ち、函館支部の伝統になっている「研修会」が久し振りに開催されました。今年度の講師は萬年英博さん（東高二五期、函館水道局主査）でした。

講話の内容は日本で最も古いといわれている函館の上水道の黎明期のエピソード、函館を代表する湯川温泉の歴史的な経緯や現在水道局が運営している谷地頭温泉とサルの温泉で有名な湯川の熱帶植物園の話など多岐にわたり、大変有意義な講話でした。

昭和十五年、函館市内で高女の先輩たちが偶然街で出会ったことからスタートしたと言っている函館支部の同窓会も、三年前創立六十周年という節

目の年を迎えました。

当日の出席者十二名中、高女の方々が五名おり、同窓会誕生期の精神が脈々と継承されていることを実感しました。出席者の最高齢は高女十三期の高間美和子さんで、学生時代バスケット部の選手だったという面影が、若々しい言動に残つております。全く老いを感じさせないほど元気溌剌としておられました。

第二次会も全員が参加し、北島三郎の演歌「函館の女」で有名な松風町のスナックで楽しい談笑の一時を過ごしました。

また、函館支部では支部活動の一環として昨年十二月、高女二期の大場光さんの息子さんが理事長を務め、大場さん自身も評議委員の一人である社会福祉総合施設「おしまコロニー」を訪問しました。この施設は社会福祉法人「佑愛会」と学校法人「ゆうあい学園」が中心の複合施設です。

知的障害を持つ乳幼児から高齢者までの人々を、各々のライフステージに応じて支援をしており、各施設の所在地は上磯町当別地区・上磯町七飯浜地

区、函館地区のエリアに点在し、各施設が互いに連携して「機能共同体」の役割を果たしています。

祈念しています。

函館支部の役員は次の方々です。

会長 古河 佑子 高女二三期
副会長 宇都宮節子 高女六期

監査後町 信子 札東一期
〃 築田 満 札東十五期

幹事 田村 紀子 札東二五期
〃 菜畠憲次郎 札東二八期
〃 萩原 勲 札東十六期
〃 藤島 健士 札東十六期
〃 工藤 黙 札東二八期
〃

(事務局)



平成十六年六月十七日（木曜日）

第一回 東高同窓会ゴルフ大会

ゴルフ部会長 氏家 保嗣
於 札幌芙蓉CC

快晴、微風の絶好のコンディションの中、氏家会長が

開会の挨拶、その後三コースで始球式の後、各コース

元気にスタート。今回は四十五名が参加、内レディス

三名、初参加四名。

コースでは、東高一期、二期の大先輩方の元気ハツラツのプレーや、誰かさんのナイスショットや、空振りなどもあり、なごやかな雰囲気、笑い声等、聞える

中多いに盛り上りました。
来年も六月開催予定です。

ゴルフ愛好者の参加を、お待ちしています。

成績は左記の通りです。

位次	名前	会員登録番号	得点
優勝	高松 五夫（東二期）		
準優勝	中川 幸男（東五期）		
三位	堂畠 時雄（東二期）	G 81	85
四位	氏家 保嗣（東一期）	G 82	
五位	木下登喜雄（東七期）	G 87	
ベストグロス賞	伊藤弘幸（東十三期）	G 81	
		H 8.4	14.4 9.6 9.6 14.4
		H 80	72.6 72.6 72.4 71.4 70.6
		N	75.2

団体

位次	名前	会員登録番号	得点
優勝	東十二期	N 297.2	堂畠時雄、庵原宏章
準優勝	東七期	N 300.4	小西正保、小林儀
三位	東五期	N 301.8	木下登喜雄、長谷泰一 阿部伸一、青木雄二

ゴルフ会 幹事
陣内、得能、中島、北村、鈴木



左から 高松（東2期）、氏家会長、中川（幸）（5期）



第55回 東高祭

テーマ
EXPLOSION

7月16日・7月17日

今年のテーマは青春を爆発！皆で協力し準備・製作・発表と学生生活の思い出になるお祭りです。晴天に恵まれ、この夏一番の熱く燃えた二日間でした。

同窓会室では東高の沿革パネルと旧校舎の写真が掲げられ、来室のご父兄、OBの方々が興味深く見ていました。同窓会では在校生にお茶・アクリアスなど配りました。又、14期藤枝様より提供のボールペンも一緒に配り生徒に好評でした。

最後に14期西岡様の応援をいただき、無事終了致しました。お礼申し上げます

母校担当 泰・藤枝・中村



終身会費のお願い

札幌東高校同窓会は、母校創立以来の卒業生延べ三万五千余名を会員とし、毎年、会員相互の交流と母校発展の寄与となる活動を行っておりますが、これらの活動経費を、入会金と年会費による収入だけで継続充実させることは、年々、困難な状況になりました。

そこで平成八年度の総会において、会則を「年会費は、一ヶ年五〇〇円とする」に加えて、「毎年納付にかえて、一〇、〇〇〇円を一時に納入することにより、終身会費とすることができる」と改正しました。

終身会費納入の皆様には、「終身会費会員証」を発行しております。

現在までの終身会費納入者は、毎年八月発行の同窓会報にご氏名を報告の通り、本年六月末で一一四名となっていますが、これは会員数に対して〇・三パーセント弱という状況です。

つきましては、終身会費の趣旨をご理解下さり、終身会費納入にご賛同下さるようお願い申し上げます。

終身会費納付状況

(平成15年8月～平成16年6月の納付者)

会員番号	氏名	卒業期
104	大橋 恵子	東高4期
105	藤井 良助	東高4期
106	佐藤 優毅	東高33期
107	泉 綾子	東高4期
108	中村 敏克	東高9期
109	佐藤 和子	東高34期
110	後藤 正光	東高35期
111	今野谷 義弘	東高14期
112	阿部 標野	東高4期
113	水上 友里江	東高37期
114	得能 勝	東高13期

(平成16年6月現在)

札幌市立高等女学校	25名
札幌市立第一高等学校	24名
北海道札幌東高等学校	65名
計	114名



平成十五年度 東高同窓会会務報告

平成15年度の主な会務を報告いたし
ます。

1、総会及び支部活動、役員会等

(1) 第94回同窓会総会 平成15年8月22日(金)／札幌パークホテル

〔当番期〕 東高20期・34期・53期
〔テーマ〕 「未来(あす)に向かって
～東からの出発(たびだち)～」

〔出席者〕 398名 〔同窓会費〕
328名

御礼…母校と会員各位のご協力に感謝し、当番期のご尽力に御礼申し上げます。

(2) 第26回東京支部総会 平成15年11月9日／渋谷エクセルホテル東急

〔当番期〕 高女24期・東高6期・30期
〔出席者〕 恩師、同窓生約120名

出席し、盛会裡に開催。幹事長出席

(3) 第63回函館支部総会 平成15年10月25日／ホテル函館ロイヤル

〔参加人数〕 12名(中澤迪也氏・常任幹事・東高8期も参加)。年会費を振り込んでいただきました。

(4) 常任幹事会 平成15年2月6日／中村屋旅館 〔議事〕 会務会計中間報告

平成16年6月21日／恵愛ビル 〔議事〕

総会提出議案審議 母校近況報告他

(5) 定例幹事会 平成15年7月7日／恵愛ビル 〔議事〕 総会議案審議、会券配布他

平成16年6月29日／恵愛ビル 〔議事〕

執行委員会 平成15年8月22日／札幌パークホテル 〔議事〕 総会関連事項他

平成15年10月7日／恵愛ビル 〔議事〕

(7) 総会、会費、100周年、部会報告
平成15年9月9日／母校 〔議事〕 記念事業のイメージ調整他(事務レベル)
平成15年11月18日／母校 〔議事〕 日程調整他(母校・関係団体)

(8) 当番期引継会 平成15年11月18日／恵愛ビル 〔議事〕 総会総括・経験交流他

2、同窓会会報

「札幌東高同窓会報」第31号を発刊／平成15年8月22日、第94回総会以降配布。

3、母校関係

(1) 東高祭(第54回) 平成15年7月10日／役員と53期生他が、運営に参加協力。

・ 同窓会ルーム(店名：ひがし高96歳)を開設。談話・休憩室を設け、

・ アルバム・パネルを展示、PR文…「4年後に百歳を迎えます。

しばし、セビア色の部屋へどうぞ」

・ 在校生にドリンクサービス。

・ 新入会員関係

(2) 母校支援 平成16年3月／体育・文化、学友会活動・後援会への助成を実施。

・ 在校生にドリンクサービス。

・ 新入会員入会式 平成16年2月27日／母校体育館

・ 54期卒業生396名。新幹事に委嘱状を授与し、卒業記念品を贈呈。卒業生累計35、484名。卒業記念品は、祝いの付箱入り「紅白大福」径57mm。「ササエ食品」に発注。

・ 卒業証書授与式 平成16年3月1日／母校体育館

・ 新幹事研修会 平成16年5月31日／札幌後楽園ホテル 東高54期新幹事を対象に、研修・懇親会を開催。

4、計報

● 平成15年12月

同窓会副会長 岩城 弘佑 様

● 平成16年2月

常任幹事 長尾 貞子 様

永年にわたる東高同窓会へのご尽力に深謝申し上げ、慎んでご冥福をお祈りいたします。

5、その他

(1) 「会員名簿」の頒布。(HPにも紹介しています)

(2) 「終身会費会員」の申込者に対し、「会員証」を送付(HPにも紹介しています)

(3) 住所・電話・勤務先など変更された会員は、事務局又はメンテナンスの会社へハガキでお知らせ下さい。

(4) 住所などの変更はハガキで別掲(16ページ参照)

(5) 同窓会事務局から別掲(16ページ参照)

平成十六年度 事業計画(案)

一、定期総会及び幹事会・常任幹事会・各種役員会を開催します。

二、支部・同期会・同好会に対する支援を行います。

三、在校生に対し、学校祭協賛事業と体育・文化・学友会活動の助成を行なう他、母校関係団体の運営と関連事業に積極的に参画します。

また、新入会員の同窓会入会式と新幹事研修会を開催し、組織強化を計ります。

四、会員名簿と幹事名簿の充実につき継続して取り組みます。また、名簿を含めた同窓会の情報公開のありかについてさらに検討を進めます。

五、終身会費制度の運営について検討を繼續します。

六、「札幌東高同窓会報」第32号を発行します。

行します。

七、会員増加と母校・同窓会の将来に備え、事務局体制の強化・効率化と役員の増員及び役員会組織運営の拡充を計ります。また、支部規定をはじめとする会則の検討を進めます。

八、母校百周年記念事業に、会員の総意を結集する準備に着手します。

事務局担当 古江・木村 林・三島

003-0809 003-0809 003-0809
札幌東高同窓会事務局
(札幌東高校内)

011-831-6332 011-831-6332 011-831-6332
札幌後楽園ホテル 東高54期新幹事

■会計報告

平成15年度決算報告並びに平成16年度予算(案)

(単位:円)

(平成15年7月1日から)

(平成16年6月30日まで)

(平成16年7月1日から)

(平成17年6月30日まで)

☆一般会計 平成15年度決算書

(収入の部)

科目	予算額	収入額合計
前年度繰越金	141,439	141,439
新入員会費	800,000	794,000
会 費	700,000	476,500
雑 収 入	658,561	606,172
計	2,300,000	2,018,111

(支出の部)

科目	予算額	支出額合計
事務局費	150,000	117,075
事務用品費	40,000	0
印刷費	15,000	0
通信費	80,000	89,485
慶弔費	50,000	103,100
会議費	400,000	464,477
総会関係費	300,000	300,000
会報発行費	160,000	156,981
学校祭関係費	160,000	114,000
同期会等助成費	200,000	200,000
新会員関係費	330,000	194,640
体育文化助成費他	230,000	230,000
特別会計積立金	100,000	0
予備費	85,000	0
計	2,300,000	1,969,738

平成16年度予算(案)

(収入の部)

科目	予算額円	適用
前年度繰越金	48,373	
入会金	800,000	2,000円×400人
会 費	750,000	年会費・終身会費
雑 収 入	751,627	総会準備金戻入・剰余金
計	2,350,000	

(支出の部)

科目	予算額円	適用
事務局費	150,000	諸会議費・交通費
事務用品費	40,000	事務用消耗品
印刷費	15,000	印刷代
通信費	100,000	郵便切手、はがき
慶弔費	80,000	慶弔費、餞別
会議費	430,000	役員会・諸会議費
総会関係費	300,000	総会準備金
会報発行費	160,000	会報印刷費他
学校祭関係費	160,000	学校祭協賛諸費
同期会等助成費	200,000	同期会・同好会助成
新会員関係費	330,000	記念品代、研修費
体育文化助成費他	230,000	在校生助成、後援会分担
特別会計積立金	100,000	積立金繰入れ
予備費	55,000	
計	2,350,000	

☆特別会計他積立金決算書

平成15年7月1日現在	金額	増額		減額		平成16年6月30日現在	金額
		金額	事由	金額	事由		
1 特別会計積立金						1 特別会計積立金	
(1) みずほ信託銀行札幌支店						(1) みずほ信託銀行札幌支店	
貸付信託	300,000					貸付信託	300,000
金銭信託	287	62	利息			金銭信託	349
小計	300,287	62				小計	300,349
(2) 中央三井信託銀行札幌支店						(2) 中央三井信託銀行札幌支店	
貸付信託	2,600,000					貸付信託	2,600,000
金銭信託	115,043	571	利息			金銭信託	115,614
小計	2,715,043	571				小計	2,715,614
(3) 札幌信用金庫本店						(3) 札幌信用金庫本店	
定期預金(14.6.28~17.6.28)	2,007,219					定期預金(14.6.28~17.6.28)	2,007,219
(4) 札幌銀行菊水支店						(4) 札幌銀行菊水支店	
ア 定期預金(13.6.27~16.6.27)	100,000					ア 定期預金(13.6.27~16.6.27)	100,000
イ 定期預金(14.6.20~17.6.20)	100,000					イ 定期預金(14.6.20~17.6.20)	100,000
ウ 定期預金(13.11.26~14.11.26)	973,967	235	利息			ウ 定期預金(13.11.26~14.11.26)	974,202
エ 定期預金(15.6.24~18.6.24)	100,000					エ 定期預金(15.6.24~18.6.24)	100,000
小計	1,273,967	235				小計	1,274,202
2 預り金会計						2 預り金会計	
百周年記念基金(14.3.24~15.3.24)						百周年記念基金(14.3.24~15.3.24)	
札幌銀行菊水支店(定期預金)	2,422,797	583	利息			札幌銀行菊水支店(定期預金)	2,423,380
3 名簿基金						3 名簿基金	
札幌銀行菊水支店						札幌銀行菊水支店	
スーパー定期(13.7.10~15.7.10)	100,036	25	利息			スーパー定期(13.7.10~15.7.10)	100,061
合計	8,819,349	1,476		0		合計	8,820,825

監査報告書

平成15年度の同窓会会計につき、毎月作成の「同窓会会計出納計算書」、その都度作成する「収入・支出決議書」、その他「証拠書類及び帳簿・通帳」の監査を行いました。監査の結果、会計処理の手続き方法は、適切であると認められました。

よって、当監査役は上記決算書が、平成16年6月30日現在の財務状態を適正に表示していることを報告いたします。

平成16年7月8日 監査役 中村瞳三四 
監査役 佐々木信義 

札幌東高等学校同窓会会則

第1章 総 則

- 第1条 本会は札幌東高等学校同窓会と称し連絡運営のため事務局を母校におく。
(白石区菊水9条3丁目 電話831-6332)
- 第2条 本会は会員の親睦と母校の発展に寄与することをもってその目的とする。
- 第3条 本会会員は正会員並びに名誉会員よりなり、正会員は札幌東高等学校卒業生及び準ずるものとし、
名誉会員は札幌東高等学校旧並びに現職員とする。

第2章 役員及び組織

- 第4条 本会に名誉役員をおく
- (1) 名誉会長 1名 現母校校長
 - (2) 名誉顧問 若干名 旧母校校長
 - (3) 顧 問 若干名 幹事会において決定のうえ総会の承認を得た者
 - (4) 相 談 役 若干名 幹事会において決定のうえ総会の承認を得た者
- 第5条 本会に次の役員をおく。
- (1) 会 長 1名 正会員中より幹事会で選出し総会の承認を得た者
 - (2) 副 会 長 10名以内 正会員中より幹事会で選出し総会の承認を得た者
 - (3) 幹 事 長 1名 正会員中より幹事会で選出し総会の承認を得た者
 - (4) 副幹事長 20名以内 正会員中より幹事会で選出し総会の承認を得た者
 - (5) 常任幹事 正会員中より各期の推薦に基づき会長が委嘱する。
 - (6) 幹 事 卒業時の各クラスより男女1名ずつ2名を選出する。卒業後7年を目処に、各期より若干名を改めて選出する。
 - (7) 監 査 役 2名 正会員より総会で選出する。但し前記役員とは兼任できない。
- 役員の任期は3年とする。但し再選を妨げない。
- 役員の任務は次のとおりとする。
- (1) 会 長 会務を総括し本会を代表する。
 - (2) 副 会 長 会長を補佐し会長事故あるときは、その任務を代行する。
 - (3) 幹 事 長 役員の分掌する任務を総括し、幹事会・常任幹事会及び執行委員会を主宰する。
 - (4) 副幹事長 総務・広報・組織・母校・会計の任務を分掌し、幹事長を補佐する。
 - (5) 常任幹事 本会事業の運営について協議し、執行委員会の任務を補佐する。
 - (6) 幹 事 会員間の連絡にあたり、幹事会に出席し組織強化に努める。
 - (7) 監 査 役 会計業務を監査し、会計の正常な運営を図る。
- 第8条 本会は次の機関をおく。
- (1) 総 会 本会の最高議決機関で年1回定期総会を開き、必要に応じて臨時総会を開催する。なお、定期総会の運営・実務は年次当番期が行う。
 - (2) 幹 事 会 総会に次ぐ議決機関で執行委員会の諸問題事項を協議し、会の運営を協議、議決する。
 - (3) 常任幹事会 本会の事業計画、予算立案その他必要事項を協議する。
 - (4) 執行委員会 会長・副会長・幹事長・副幹事長で構成し、事業計画、予算立案その他必要事項を協議し、会の運営にあたる。

第3章 事 業

- 第9条 本会は会の目的達成のため次の事業を行う。
- (1) 総会の開催
 - (2) 会誌の発行
 - (3) 母校発展のための事業
 - (4) 本会の組織強化のための事業
 - (5) その他執行委員会で必要と認めた事業

第4章 会 計

- 第10条 本会の会計は正会員の会費・寄附金及び総会剰余金をもってこれにあてる。
- (1) 入会金は、2,000円とする。
 - (2) 年会費は、1ヶ年1,000円とする。
- 但し、毎年納付にかえて、一口10,000円を一時に納付することにより、終身会費とすることができます。

第11条 本会の会計年度は7月1日より翌年6月30日までとする。

第12条 監査役は会計年度終了時に会計監査を行い、その結果を総会に報告する。

第5章 附 則

- 第13条 会員は住所、姓名等一身上の異動があったとき、これをすみやかに本会事務局又は各期代表幹事まで連絡しなければならない。

第14条 会則の変更は、総会において出席者の3分の2以上の承認を得なければならない。

第15条 会計業務は、母校事務局で行う。

第16条 本会則は昭和35年8月21日より施行する。

一部改正～昭和49年8月23日
昭和50年8月25日
昭和51年8月25日
昭和52年7月17日
昭和56年8月22日
昭和62年8月21日
平成8年8月23日
平成11年8月20日
平成16年8月14日

*名簿メンテナス
株式会社伊藤孝治所長 060-0051 札幌市中央区南1条東3丁目10-1
北海道伊丹文化会館5F 電話241-0501 FAX241-0511

北海道札幌東高等学校 同窓会役員名簿

平成16年6月現在

役 職	担 当	氏 名	卒業期	郵便番号	住 所	電 話	勤務先	電 話	Fax等
顧 問		松 尾 静 江	高女22						
相 談 役		丹 保 憲 二	東高01						
会 長		小野寺 ツ ハ 夫	高女16						
副 会 長	母 校	五十嵐 新太郎	東高01						
幹 事 長	母 校	吉 中 泰 子	高女24						
副 幹 事 長	母 校	秦 林 中 木	子 子	東高01	一高01				
監 察 役		高 川 陣 佐	木 島 內	美 級 大 幸	木 島 內	東高03	東高04	東高08	
常 任 役		藤 橋 小 山	國 野 次	靖 靖	國 野 次	東高14	東高14	東高12	
監 察 役		高 川 陣 佐	木 島 內	則 規	木 島 內	東高09	東高09	東高09	
監 察 役		高 川 陣 佐	木 島 內	正 一	木 島 內	東高10	東高10	東高14	
監 察 役		高 川 陣 佐	木 島 內	祐 康	木 島 內	東高14	東高14	東高16	
監 察 役		高 川 陣 佐	木 島 內	紀 村	木 島 內	東高16	東高16	東高19	
監 察 役		高 川 陣 佐	木 島 內	博 子	木 島 內	東高22	東高22	東高26	
監 察 役		高 川 陣 佐	木 島 內	司 司	木 島 內	東高26	東高26	東高28	
監 察 役		高 川 陣 佐	木 島 內	久 幸	木 島 內	高女21	高女21	高女26	
監 察 役		高 川 陣 佐	木 島 內	保 修	木 島 內	東高12	東高12	東高02	
監 察 役		高 川 陣 佐	木 島 內	助 唯	木 島 內	高女15	高女15	東高01	
監 察 役		高 川 陣 佐	木 島 內	輔 井	木 島 內	高女26	高女26	東高02	
監 察 役		高 川 陣 佐	木 島 內	未 久	木 島 內	高女26	高女26	東高04	
監 察 役		高 川 陣 佐	木 島 內	駒ヶ嶺 家	木 島 內	東高02	東高02	東高04	
監 察 役		高 川 陣 佐	木 島 內	長谷川	木 島 內	高女26	高女26	東高05	

母校は今、

(近況報告)

全道大会戦績

【陸上】(入賞者のみ)

・男子走幅跳

五位

(中井信吾)
(全国大会出場)

【空手】

・男子三段跳

六位

(中井信吾)
(全国大会出場)

【卓球】

・男子棒高跳

八位

(遠藤彰宏)
(全国大会出場)

【水泳】

・男子砲丸投

七位

(塚田啓)
(全国大会出場)

【弓道】

・女子砲丸投

八位

(鈴木日菜)
(全国大会出場)

【ソフトテニス】

・男子団体

五位

(松永・菊川組)
(成田・西館組)

【囲碁】

・男子ダブルス

一回戦敗退

(伊藤悠介)
(栗田みち子)

【放送】

・男子ダブルス

一回戦敗退

(成田・西館組)

【音楽】

・男子団体

一回戦

(小林・進藤組)

【朗読部門】

・男子団体

一回戦敗退

(成田・西館組)

【合唱部門】

・男子団体

一回戦

(成田・西館組)

【国際会議】

・男子団体

一回戦敗退

(成田・西館組)

【短期大学】

・男子

一回戦敗退

(成田・西館組)

【専門学校等】

・男子

一回戦敗退

(成田・西館組)

合計	382	22	(22)
大学別合格者数	382	22	(22)
(一部抜粋)			
①北海道大学	10名	57名	
②小樽商科大学	29名		
③北海道教育大学	4名		
④室蘭工業大学	5名		
⑤札幌医科大学	2名		
⑥東北大学	30名	45名	
⑦千葉大学	1名		
⑧金沢大学	1名		
⑨大阪大学			
⑩北星学園大学			
⑪早稲田大学	2名		
⑫慶應大学	5名		
⑬東京理大	2名		

⑦千葉大学	2名
⑧金沢大学	1名
⑨大阪大学	1名
⑩北星学園大学	
⑪早稲田大学	
⑫慶應大学	
⑬東京理大	

同期会助成金について

親睦の和を広げる同期会の助成金について、お知らせいたします。

(1) 目的 同期間の交流を拡大し会員の親睦を深める。

(2) 基準 卒業期全体を対象とする同期会とし、年1回に限る。

(地域又は一部を対象とする会は除外する。)

(3) 金額 1回につき、一万円とする。但し、初回は三万円とする。

(4) 手続 同期会開催通知(案内状等)に参加(予定)人

数と銀行振込口座を付記して、事務局へ郵送又はファックス送信する。振込先は、同期会代表者又は会計担当者とする。

※ 年会費五〇〇円領収いたしました。

号は、P14の役員名簿参照

寄贈のお願い

古いパッジ・卒業アルバム・その他思い出の物件を同窓会の備品として保管すべく整理しておりますので、お手持ちの方がおりましたら、ご寄贈下さいますようお願いいたします。

—あとがき—
今年度の会報をお届け致します。
お忙しい中、原稿をお寄せ下さい
ました校長先生を始め、同窓生各位、また学校関係の資料をまとめて下さった同窓会事務局の先生方に厚くお礼を申し上げます。会報ご希望の方は、母校事務局又は幹事長の小山へお申し出下さい。

平成十六年八月
東高同窓会長